

パウロ

イエスさまの弟子の中に、パウロという人がいました。この人は、ペトロや、ほかの弟子たちとはちがって、イエスさまに出会ったことがありませんでした。

かれは、ユダヤ教徒として熱心でした。イエスさまの死後、弟子たちが、イエスさまのことを人びとにむかって話しだし、たびたび、ユダヤ教の中心となっていた律法にそむくことがあったので、かれはキリスト教徒と呼ばれていた、イエスさまの弟子たちを熱心

に迫害していました。

しかし、かれは途中で、きゆうに変身して、キリスト教徒の仲間に入ってしまった。かれの呼び名は、はじめサウロと呼ばれていましたが、あとで、パウロと呼ばれるようになりました。

どうして、パウロは、きゆうに変身したのでしょうか。かれは、復活したイエスさまに出会ったと言っています。あんなに激しく、キリスト教徒を迫害していたのに、こんどはぎやくに、イエスさまのことを弟子たちと同じように、話しはじめました。

律法りっぽうのことはなんでも知しっていたパウロは、復活ふっかつしたイエスさまに出会であったあと、人びとを、律法りっぽうのそくばくから解放かいほうするために努力どりよくしました。

「律法りっぽうを守まもることによつては救すくいがえられない。キリストの名なに信しん頼らいしないかぎり、救すくいはない。キリスト教きりすとは、ユダヤ人じんだけでなく、ユダヤ人以外じんいがいの異邦人いほうじんにも開ひらかれた教おしえだ。ユダヤ人以外じんいがいの人がキリスト教きりすとになつても、律法りっぽうをしいられない」とかれは機き会かいあるごとにううつたえました。

パウロは、復活ふっかつしたイエスさまに出会であったあと変身へんしんしました。かれは、もはや、サウロではありません。

どのようにしたら、パウロのように、変身へんしんすることができるのか考かんえたことを、次の空白つぎ くうはくに書かいて下ください。

